

捜査権がない 不正請求の実態!

都産業労働局は、中小企業業の「新製品・新技術開発・産学公連携事業」に関し、助成事業を(財)東京都中小企業振興公社に委託しています。事件の内容は新聞記事の通りですが、事件の発端は関係者からの告発でした。行革110番の独自調査から、公社は助成金を支給する事が大前提であり、チェックは甘く、全く機能していません。事実が判明しました。

技術開発の助成 不正請求と告訴

都中小企業振興公社は、25日、技術開発にからむ助成金を不正に請求したとして、先端技術会社「コンネット」(千代田区)の代表取締役(56)を詐欺未遂の容疑で警視庁に告訴した。

平成15年7月26日
朝日新聞

今春、1500万円の助成金を交付を申請。だが、公社の調べでは、技術は既に開発済みのもので、購入の事実がない領収書などが提出されていたという。一方、同社の代表取締役は「不正の事実は一切なく、告訴は納得できない。全面的に争う」と反論している。

やる気がない 日比谷公園の実態!

都は日比谷公園内にある民間レストランからは土地の使用料等を徴集しています。行革110番の調査で、許可面積と実際の使用面積が大幅に違う



民間の企業活動・伝票操作を、捜査権のない役人・公社職員にチェックできるはずもなく、助成金を見直すべきです。

レストランが複数見つかりました。昭和30年代の図面をそのまま使っていたものまでありました。測量し直し、適正な料金を徴収するといいますが、数10年間の徴収もれは取れません。また、公園内は「車両通行禁止」と都市公園法で定められています。にもかかわらず、(歴史的背景はあるが)園内にあるレストラン「松本楼」に来店する客の為、都は公園の通路を開放する特別な計らいをしています。しかし、

入り口には「車両進入禁止」の看板が立っています。看板には「丸の内警察署」の文字が書かれています。公園内には警察の権限はなく手出しできません(違法に駐車・停車している車を多く見かけます)。園内で「子供が車にはねられる」等の事故がおきたら誰の責任?当然、東京都の責任は免れないでしょう。行革110番は抜本的な改革を要請していますが、解決していません。

仕事がない!

捜査権がない

やる気がない

仕事ができない役人たちの実態!

仕事がない! 「防災特別指導員」

消防署長クラスの「防災特別指導員」。授業を受け持ち防災に関する講義をするのが仕事です。

平成14年度の特別指導員は19人。12月分の授業の回数を調べてみると、13回しかない。言うことは、1人が1回(授業は1回50分)仕事をしたとしても6人は全く仕事がない計算になります。これで、給料は月額283,200円、年間340万円。行革110番の指摘に消防庁は改善を約束したが、天下一を禁止するか方法はありませぬ現場で命を張って働く職員の士気に影響がでて当然です。

やる気がない 都教委の身内改革

◎都教育委員会は、教育関係職員の24の任意団体に補助金を2700万円を支出しています。その一つ「関東公立高等学校事務長会」が6月12日、13日にホテルセンチュリーハイアットで開かれる、というのです(都立学校には校長の下に、事務の責任者として事務長の職があります)。調べると事務長会は、全国、関東、東京の3つの事務長会組織があり、

左上の「商店会駐車場」関係者以外の駐車場はお断り致します。都営住宅敷地内の「公園」を許可なく壊して造った商店街専用駐車場です(客用ではありません)。無許可の駐車場ですから、東京都に駐車料金は支払われていません。昨年1月、行革110番は本件同様の違法駐車場を摘発しました。昨年6月、都住宅局は「(財)東京都住宅



「都営くすのきアパート」の駐車場の写真

都教委はこの事務長会の会費 3319,000円(平成12年度を補助し、その上、これらの団体の機関運営等に年間6日程度?の職免を認めていたのです。◎現在、都立武蔵高校の事務長が全国事務長会の会長です。ところが、都教委が武蔵高校の定期監査を行ったところ、事務・経理関係で、15項目の改善事項が指摘されました(通常は多くても2項目ぐらいという)。全国事務長会の会長の職が忙し

供給公社に全ての都営住宅を調査させ、是正した」との事でした。しかし、今回の事件で仕事をしていた。しかし、今回いかなかった事が証明されました。都営住宅の管理委託料329億5500万円(14年度)が一括で住宅供給公社に支払われています。住宅供給公社は住宅局の第一の天下り先です。天下りポストの確保より、委託方法・委託先を検討するべきです。

ぎ本業を放ったらかしたのでしょうか? 補助金改革は、まず最初に身内の補助金を全面的に見直す事として服務を厳正にすべきです。

編集後記

都庁は伏魔殿と呼ばれます。私は都議会の中で議員・役人から袋叩きに合いながら、「伏魔殿に納税しているのも都民、議員を選んで文句をいうのも都民。どうすれば良いのか!」と自問自答する毎日です。役員・議員に任せきりでいると、年金のように取り返しのつかない事態になる事だけはわかっています。

紙面の都合上、行革110番の調査事項の一部しか記載できないのが残念です。ホームページに「行革パン屋の都政日記」等を掲載しています。ご覧になっていただければ幸いです。行革110番は、2年前の都議選で行革パン屋として立候補し、田中康夫長野県知事、中村敦夫参議院議員にも応援頂き1議席を得て、東京都を納税者・生活者の目線でチェックし、都庁のムダ・矛盾を解明・解決し、風通しを良くする事が、都庁改革・財政再建につながると考え活動しています。皆様の情報をお待ちしています。 後藤 雄一

